

大野城市立中学校における制服のあり方について  
(最終報告)



令和4年11月

大野城市立中学校制服検討委員会

(余 白)

# 大野城市立中学校における制服のあり方について（最終報告）

## 1 はじめに

近年、保護者の経済的負担、生徒の多様性、制服の機能性への対応から、中学校における制服の見直しが全国的に注目されている。国の動きとしては、平成 29 年 11 月 29 日に公正取引委員会から「公立中学校における制服の取引実態に関する調査」が報告されている。この報告では、「制服の販売価格は、10 年前と比べ上昇傾向」であることを踏まえ、制服の指定・仕様、学校と制服販売業者との関係、制服の販売価格等に関して、学校に対して期待する取組が示されている。

文部科学省からは、平成 27 年 4 月 30 日に「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」の通知において、性同一性障害に係る児童生徒に対する学校における支援の事例として「自認する性別の制服・衣服や、体操着の着用を認める」ことが挙げられている。さらに、平成 30 年 3 月 19 日の「学校における通学用服等の学用品等の適正な取扱いについて」の通知では、保護者等の経済的負担が過重なものとならないよう留意することが示されている。この中で、制服の選定や見直しに当たっては、保護者等学校関係者からの意見を聴取した上で決定することが望ましいと記されている。

一方、気象庁のデータによれば、2021 年の日本の平均気温の基準値（1991～2020 年の 30 年平均値）からの偏差は+0.61℃で、1898 年の統計開始以降、3 番目に高い値となっている。また、日本の年平均気温は、様々な変動を繰り返しながら上昇しており、長期的には 100 年あたり 1.28℃の割合で上昇していることが示されており、いわゆる地球温暖化が進んでいる。特に、近年は猛暑日と呼ばれる日が増えており、従来の制服（夏服）では気候に対応できていない実態があると言える。

## 2 大野城市の現状

現在、大野城市内の 5 中学校（大野中学校、大野東中学校、大和中学校、平野中学校、御陵中学校）のうち、平野中学校のみ、男子はブレザー・スラックス、女子はブレザー・スカートで、他の 4 中学校については、全て男子は詰襟学生服、女子はセーラー服になっている。制服の価格については、学校ごとに違っている状況である。なお、LGBTQ への配慮のための第三の制服（他市町の制服）の着用や、暑さに対応するための体操服での登校等を各中学校長の判断により、学校ごとに認めている。

## 3 各種アンケート調査結果

### （1）学校運営協議会アンケート結果

令和 3 年度末に市内の学校運営協議会へアンケートが実施されている。

- 「あなたが所属（関係）している、または進学先の中学校の制服は見直した方が良いと思いますか？」について、「見直すべき・見直した方が良い」の回答は、小学校 50%、中学校 59%、「見直さない方が良い・見直さなくて良い」の回答は、小学校 9%、中学校 0%、「学校の意向に合わせる」の回答は小学校 41%、中学校 41%であった。
- 「もし制服を見直すなら、大野城市として統一した制服が良いですか？それとも各学校独自に検討した方が良いですか？」について、「統一すべき・統一した方が良い」の回答は、小学校 24%、中学校 3%、「学校独自の方が良い・学校独自で良い」の回答は、小学校 43%、中学校 50%、「学校の意向に合わせる」の回答は小学校 33%、中学校 47%であった。

## (2) 児童生徒・保護者アンケート結果

令和 4 年 6 月 30 日から 7 月 7 日にかけて、小学 5・6 年生及び中学 1～3 年生、全学年の保護者、教職員を対象に中学校制服に関するアンケートを実施した。特徴的な結果を以下に示す。

- 「Q1 現在通っている（通う予定の）中学校の制服を見直す必要があると思うか？」について、見直す必要があるとの回答は、小学生全体：53%、中学生全体：63%、保護者全体：74%、教職員全体：75%であった。学校別に見れば、児童生徒対象では、「見直す必要がある」の回答よりも「見直す必要がない」の回答が上回った学校は、大野小学校（14%）、大城小学校（14%）、御笠の森小学校（22%）、御陵中学校（12%）の 4 校であった。保護者については、全ての学校で「見直す必要がある」の回答が「見直す必要がない」の回答を上回った。
- 「Q2 (Q1 で「制服を見直す必要がある」と回答した人が対象) 見直す場合、全面的に見直した方が良いか、一部を見直した方が良いか」について、全面的に見直す必要があるとの回答は、小学生全体：68%、中学生全体：76%、保護者全体：68%、教職員全体：52%であった。学校別に見れば、中学生の保護者のみが「一部見直し」の回答が「全面見直し」の回答を 10%上回った。
- 「Q3 (Q2 で「制服を全面的に見直す必要がある」と回答した人が対象) 見直した方が良いと思う理由」について、小学生全体、中学生全体、保護者全体は「暑さ・寒さ」・「デザイン」・「動きやすさ」が上位 3 位を占め、教職員全体では「男女別」・「暑さ・寒さ」・「動きやすさ」であった。
- 「Q4 (Q1 で「制服を見直す必要なし」と回答した人が対象) 見直す必要がない理由」について、最も回答が多かった「困っていない」の割合は、小学生全体（79%）、中学生全体（83%）、保護者全体（74%）、教職員全体（79%）であった。
- 「Q5 自分の好みで組み合わせを選べることは良いことだと思うか」についての肯定的な回答は、小学生全体（93%）、中学生全体（93%）、保護者全体（90%）、教職員全体（95%）であった。
- 「Q6 (Q2 で「制服を全面的に見直す必要がある」と回答した人が対象) 見直す場合、デ

デザインは「学校ごとのデザイン」と「市統一デザイン」のどちらが良いかについて、全ての学校で「学校ごとのデザイン」が「市統一デザイン」を上回った。市全体では、小学生全体（82%）、中学生全体（89%）、保護者全体（57%）、教職員全体（55%）であった。

○「Q7 制服に求めるもの」についての上位3位は、小学生全体：「デザイン」・「耐久性」・「着心地」、中学生全体：「デザイン」・「着心地」・「機能性」、保護者全体：「着心地」・「価格」・「耐久性」、教職員全体：「着心地」・「耐久性」・「機能性」であった。

アンケート結果から、全体傾向として、制服の見直しについては「必要」と考えている意見が多く、制服の見直す点は、「暑さ・寒さ」「デザイン」「多様性」に対する意見が多い。制服のデザインについては、ボトムスの選択ができるように、スラックス・スカートの設定が可能なブレザータイプを望む意見が多い。また、保護者の意見の多くに、リュースのしやすさの重視や、「リュース会」を公的にして欲しいという要望もあった。

#### 4 制服検討委員会の設置と開催について

大野城市教育委員会では、令和4年3月29日に大野城市立中学校制服検討委員会設置要綱を定め、令和4年4月1日から施行された。これを受けて、以下のように合計5回の制服検討委員会が開催された。なお、第3回と第4回の委員会では、大野城市内の5中学校生徒会とのオンラインによる意見交換も行った。第2回の委員会までの議論をもとに作成した中間報告「大野城市立中学校における制服のあり方について（論点整理）」は、大野城市の校長会・学校運営協議会と共有し、学校運営協議会への意見聴取も行った。

- ・第1回 令和4年7月11日（月）
- ・第2回 令和4年8月30日（火）
- ・第3回 令和4年9月27日（火）中学校生徒会とのオンラインによる意見交換を含む
- ・第4回 令和4年10月18日（火）中学校生徒会とのオンラインによる意見交換を含む
- ・第5回 令和4年11月15日（火）

#### 5 制服検討委員会における議論の内容

##### （1）制服の必要性

制服は、学校での集団への帰属意識を高めるだけでなく、社会のルール・マナー・モラルなどの心のもち方を学ぶ機会を与えることになる。さらに、生徒自身が制服の組み合わせを選ぶ要素を入れおけば、一定のルールの中で着こなしを自ら考える機会にもなる。つまり、制服は着るだけではなく、「学びの道具」でもあるという捉え方ができることから、中学生にとって制服は必要であるとの結論になった。

## (2) 現在の制服を見直す必要性について

現在の制服では、気候への対応や LGBTQ への配慮という点では、不十分であると言える。上記のアンケート結果では、「現在の制服を見直したが良い」という回答は多いものの、中学校全体の結果は 63% であり、大多数とはいえない。5 中学校生徒会とのオンラインでの意見交換では、現在の制服を見直す必要がない理由として、「現在の制服が好きだから」、「LGBTQ への配慮は、そのための制服を追加することで対応できる」という意見であった。

本委員会で議論した結果、気候への対応という点で、機能性を考慮した制服に変える必要があることと、LGBTQ への配慮として、目立つことなく、戸惑わずに選ぶことができることが重要であるという点から、市内で全面的に見直すことが必要であるとの結論に至った。

なお、「見直す必要がない」の意見の理由として、新しい制服が高価になることや、現在着ている制服が着られなくなることへの心配が挙げられる。そこで、リユースしやすい制服の選択やリユースが促進される仕組づくりが必要である。また、新しい制服が決まった場合も、現在着ている制服を卒業まで着ることができるようにするなどの配慮も必要である。

## (3) 制服を変える際のポイントについて

アンケート結果を踏まえて、「機能性」、「経済性」、「安全性」、「多様性」、「デザイン性」の視点から、本市の制服に求められる要素を議論した結果を以下に示す。

### 【機能性】

伸縮性と耐久性があるものが望ましい。しかし、価格とのトレードオフになることから、制服業者との協議の中で価格を考えながら決める必要がある。この際、公正取引委員会から示されている「学校に対して期待する取組」に沿った対応が必要である。また、感覚過敏な生徒への対応として、素材の種類を考慮する必要もある。このため、機能・素材が異なるいくつかの制服を選択できることが望ましい。

### 【経済性】

上着は男女兼用型のブレザーにして、かつ、大野城市全体で統一することで、価格を下げることで、リユースのしやすさが実現できるものと考えられる。中学校生徒会との意見交換では、LGBTQ 対応の面から男女共用であることが良いとの意見が多かった。また、大野城市全体で統一することは、大野城市全体での一体感をもつことができるとの意見もあった。なお、ボトム（スラックスとスカート）については、ブレザーよりも安価になるため、学校独自のデザイン性を重視するという考え方ができるが、実際には色や柄の選択肢は多くはなく、遠目で違いが分かるほどの差が出にくい。したがって、上着同様に大野

城市全体で統一して価格を抑えることとリユースをしやすいことが望ましい。シャツについては、襟付きのワイシャツ以外にポロシャツも選択可能とし、さらに量販店でも購入可能にすることが望ましい。特に、夏場は汗をたくさんかくことから、量販店で安価にポロシャツを購入することができれば、洗い替えを用意しやすく、衛生面の良さもある。

#### 【安全性】

現在は名前の刺繍になっているが、ネームプレートに変更し、校外で個人が特定されないようにすることが望ましい。これによって、リユースの際の手間も省くことができる。袖口ボタンについては、中学校生徒会との意見交換の際に、「机に当たると書きづらい」という意見があった。そこで、ブレザーの袖口のボタンの代わりに反射パイピングを施せば、活動時にボタンが邪魔になることを排除できるだけでなく、冬場の暗い時間帯の登下校時における車両からの視認性を高めることが期待できる。

#### 【多様性】

上記にあるように、上着は男女共用型のブレザーに統一するが、ボトムはスラックスとスカートを性別に関係なく選べるようにすることが必要である。このように SOGI（性的指向/性自認）に関する取組にすることで、LGBTQ への対応だけでなく、もっと多様に性的指向や性自認を感じている生徒も制服選択が容易になる。また、その日の気候や活動内容に応じて、今の自分にあったものを選ぶことができるという、広い意味での多様性という考え方が大切である。

#### 【デザイン性】

シャツについては、襟付きのワイシャツ以外にポロシャツを選択できるだけでなく、色についても選択制を設けることで、学校の独自性をもたせることができる。ただし、色の指定や選択の仕方については、学校（生徒と教師）の考えを尊重したい。同様に、リボンやネクタイにスクールカラーを反映させたり、学校独自の柄にしたりすることで、学校の独自性をもたせることができる。中学校生徒会との意見交換では、学校の独自性を大切にしたいとの意見が多かったが、上着とボトムを市内統一にするため、シャツとリボン・ネクタイで独自性を出せるようにしたい。

## 6 結論

上記の議論を踏まえ、これからの大野城市に望ましい制服を下表にまとめた。「一定のルールの中で生徒が選択した制服を着こなす」ことで、制服を通したモラルの育成につなげていただきたいと考えている。

(表) 大野城市立中学校の望ましい制服のあり方 (まとめ)

	デザイン	素材	色・柄	安全性
上着	ブレザータイプ 男女兼用	伸縮性のあるもの 耐久性のあるもの 感覚過敏への対応	同色 同柄	名札ループ 筒袖反射パイピング
	市内統一の型	複数選択肢あり	市内統一	
ボトム	スラックス (I型・II型) スカート 男女兼用	伸縮性のあるもの 耐久性のあるもの 感覚過敏への対応	同色 同柄	
	市内統一の型 両方選択できる	複数選択肢あり	市内統一	
シャツ	ワイシャツタイプを基本とする ポロシャツタイプも選択可	綿, 混紡など洗濯しやすいもの ニットシャツなど着心地が良いもの	単色 (複数色) 柄なし	
	市内統一なし 市販の物も可	複数選択肢あり	学校で選択	
リボン ・ ネクタイ	リボン ネクタイ (I型・II型) 男女兼用 ワイシャツの場合には着用を基本とする	ポリエステル	複数の色・柄	
	市内統一の型 両方選択できる	市内統一	学校で選択	
学校の独自性への配慮	[学校で選択するもの] ・リボン・ネクタイの色・柄 ・シャツの色 ・名札のデザイン			

本委員会の最終報告書を踏まえて、どのような制服にするのか、各中学校で生徒たちを中心に議論し、生徒たちが「自分たちで決めて、自分たちの制服文化(学校文化)を創っていく」ことを大事にしていただきたいと考えている。これを教育課程に位置付けるならば、学校文化を創る特別活動であり、道徳教育でもある。モラルは「道徳・倫理」であることから、制服を着こなす中で生徒にモラルを考えてもらうことは、大野城市が大切にしている「心の教育」と軌を一にするものと考えている。



## 7 おわりに

### ～大野城市の中学生の皆さんへのメッセージ～

制服検討委員会との意見交換に参加してくれた市内5中学校の生徒会の皆さん、ありがとうございました。また、生徒会を中心にアンケートや議論に協力してくれた市内の中学生の皆さんに感謝します。意見交換の中で、皆さんが制服を通して自分たちの学校を誇りに思い、学校文化をととても大切にしていることに感銘を受けました。このため、皆さんの意見を聞くにつれて、新しい制服を大人が一方向的に決めてしまうのは問題であると感じました。そこで、本委員会としては、新しい制服の方向性として、ブレザーとスカート・スラックスは市全体で統一するものの、シャツ、リボン・ネクタイについては市全体での統一をせず、学校独自のものを決められるようにしました。

ぜひ、学校内で生徒の皆さんをはじめ、先生たちとも意見を交わした上で、制服という新たな学校文化を創って欲しいと考えています。ただ、これを決める過程では、対立やジレンマに向き合うことがあるかも知れません。これを乗り越えて決まった新しい制服を着こなす中で、自分たち独自の学校文化を大切に、後輩たちへ継承して欲しいと願っています。

海外に目を向けると、経済協力開発機構(OECD)が2030年に向けた教育「Education 2030」を示しています。この枠組みの中で、「新たな価値を創造する力」、「対立やジレンマを克服する力」、「責任ある行動をとる力」の3つの力が、これからの変化が激しい社会の中で必要であると示されています。自分たちの学校に相応しい制服を考え、議論し、決まった制服を着こなしていくことは、これらの力を高めることにつながるのです。

大野城市の中学校を卒業した皆さんが、将来、社会の新たな創り手として活躍されることを期待しています。

## 資料

### 大野城市立中学校制服検討委員会

---

会 長 伊藤 克治（福岡教育大学教育学部教授）

副会長 日永田貞代（つつじヶ丘区長）

氏 名	所 属	備 考
イトウ カツジ 伊藤 克治	福岡教育大学教育学部教授	学識経験者
ヒエイダ サダヨ 日永田 貞代	つつじヶ丘区長	区長代表
クサカベ タツヤ 日下部 達矢	平野中学校長	中学校校長代表
ヒラノ コウジ 平野 孝二	大野小学校長	小学校校長代表
マツタ アサミ 松田 愛紗実	大城小学校 P T A	小学校及び中学校 児童生徒の保護者代表
コガ ヒロキ 古賀 寛紀	御陵中学校 P T A	
ミウラ ノブヒサ 三浦 暢久	N P O 法人カラフルチェンジラボ 代表理事	教育長が必要と認める者

## 大野城市立中学校制服検討委員会開催記録

	開催日時	議 題
第1回	令和4年7月11日(月) 午前10時～午前11時45分	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委嘱状交付</li> <li>2 教育長あいさつ</li> <li>3 自己紹介</li> <li>4 委員長及び副委員長の選任</li> <li>5 趣旨説明及び制服検討事業の進め方について</li> <li>6 児童生徒及び保護者アンケート報告</li> <li>7 意見交換及び論点整理</li> <li>8 市民ワークショップについて</li> </ol>
第2回	令和4年8月30日(火) 午後1時30分～午後3時	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育長あいさつ</li> <li>2 市民ワークショップ報告</li> <li>3 小中学生・保護者・教職員アンケート分析報告</li> <li>4 各視点のまとめ</li> <li>5 意見交換・論点整理               <ol style="list-style-type: none"> <li>①大野城市の新制服の考え方(基本コンセプト)の整理</li> <li>②新制服に向けた配慮事項・具体的要望事項の整理</li> <li>③中学校生徒会との意見交換の方法について</li> </ol> </li> </ol>
第3回	令和4年9月27日(火) 午後3時～午後5時20分	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育長あいさつ</li> <li>2 報告               <ol style="list-style-type: none"> <li>①中学校長会との意見交換会概要報告</li> <li>②制服販売業者との意見交換会概要報告</li> </ol> </li> <li>3 意見交換・論点整理               <ol style="list-style-type: none"> <li>①「大野城市立中学校における制服のあり方について(論点整理)(案)」について</li> <li>②市全体の統一性と、学校の独自性について</li> <li>③中学校生徒会との意見交換(第1回)</li> </ol> </li> </ol>
第4回	令和4年10月18日(火) 午後3時～午後5時30分	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育長あいさつ</li> <li>2 意見交換・論点整理               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 最終報告書策定に向けての意見交換                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・制服の型やサイズ展開のあり方について</li> <li>・シャツ, ブラウスとポロシャツについて</li> </ul> </li> <li>② 中学校生徒会との意見交換(第2回)</li> </ol> </li> </ol>
第5回	令和4年11月15日(火) 午後1時30分～午後3時	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育長あいさつ</li> <li>2 報告               <ol style="list-style-type: none"> <li>①「大野城市立中学校における制服のあり方について(論点整理)」に対する学校運営協議会委員からの意見</li> </ol> </li> <li>3 意見交換・論点整理               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 最終報告書策定に向けての意見交換                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネクタイ, リボンの着用について</li> <li>・市販のシャツの型について</li> <li>・スラックス, スカートの柄について</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>4 最終報告書の確定</li> <li>5 制服検討委員会終了後の今後の流れ</li> </ol>



---

大野城市立中学校における制服のあり方について（最終報告）

令和4年11月

大野城市立中学校制服検討委員会  
（事務局）大野城市教育委員会 教育支援課

---